



こんな時だからこそ、 豊かな読書活動を！

この度、山城教育局では新型コロナウイルス感染症に対応しながら読書活動を推進するための啓発資料として、「こんな時だからこそ、豊かな読書活動を！」を作成しました。

学校が再開し、まずは、教師と児童・生徒が焦らず落ち着いて人間関係をつくり、安心して学習できる環境づくりが大切な時期です。

そんな中、読書活動は感染防止に十分配慮すれば、児童・生徒が落ち着いて学習に取り組む習慣づくりに大変有効な手立ての1つです。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響が見通せない中、児童・生徒が主体的に取り組むことのできる読書活動を充実させることは今まさに大切なことではないでしょうか。

また、臨時休校に伴い、年間指導計画等を見直さざるを得ない状況の中で、学習指導要領に定める内容が効果的に指導できるよう、読書活動を活用することも考えられます。

学校図書館は、「読書センター」としての機能、「学習・情報センター」としての機能、「心の居場所」としての機能等、学校教育における重要な機能を担っています。「こんな時だからこそ、豊かな読書活動を！」を参考に、児童・生徒の学習活動や読書活動をサポートしていただきますようお願いします。

資料として、児童・生徒が目標を持って読書活動に取り組める「ブックワーク」についても提示しておりますので、児童・生徒の主体的な読書活動に向け、活用いただきますようお願いします。

なお、京都府立図書館より低学年児童が読書に親しむことができるよう、小学1年生から3年生までの児童数の教科書に掲載の図書が送付されます。更なる読書活動推進・家庭学習支援等に御活用をお願いいたします。
(山城教育局のホームページにもアップしています。 <http://www.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-k/cms/>)

